

## 《3年ぶり開催》

### 令和4年度 佐高在仙同窓会総会

☆と き 9月10日(土) 午後4時  
☆幹 事 高33回生(昭和56年卒)  
☆と ころ パレスへいあん  
仙台市青葉区本町1-2-2

佐沼高等学校在仙同窓会便り

# ひろがり

No21

1・2面 「トップ3」が語る

発行日: 2022. 7. 31

4・5面 33 回生座談会

発行者: 佐高在仙同窓会広報誌委員会

## WEB座談会

### 「トップ3」が語る

☆コロナ禍の現状と課題  
☆母校120周年  
同窓会への期待と役割



6月9日、母校から  
狩野校長先生、在仙同  
窓会から羽生会長、五  
十嵐副会長が参加、W  
EB座談会を開催、  
「コロナ禍の現状と課  
題」、「母校創立12  
0周年 同窓会への期  
待と役割」をテーマに  
お話をいただいた。  
(司会 佐藤新光)

### コロナ禍の現状と課題

(司会) 狩野校長先生から、コロナ禍での学  
校現場の状況についてお話しいただきます。  
(狩野校長) 今も感染対策として、毎日検温  
して、体温記録表をつけ、教員がチェックし  
ています。授業中もマスクを基本的にずっと  
つけていますし、昼食も自席で黙食しており  
ます。

現在の高校3年生の入学は、緊急事態宣言  
による臨時休校があり6月からのスタートで  
した。高校総体をはじめ各種の大会や発表会、  
本校でも文化祭や球技大会、修学旅行など、



狩野秀明校長  
○東和中出身○34回  
生○バドミントン部

学校行事のほとんどが「中止」となりました。  
昨年度においても緊急事態宣言が出された  
9月には、クラスを半分に分けて分散登校と  
したり、部活動も自粛の措置で活動できない  
など、大変な高校生活を送っておりました。  
現在も、一部オンラインや分散という形で  
はありますが、できるだけこれまで通りの授  
業や学校行事を実施すべきとの考えから、昨  
年度の修学旅行も北関東(那須・福島)方面  
へ1泊だけでしたが、実施できたのは良かつ  
たと思います。

これからも、「感染対策」と「学びの保障」  
の両立を図りながら進める予定としておりま  
す。

(司会) 続いて羽生会長には、企業のトップ  
としてお話しいただきます。

(羽生会長) 東京五輪で経済成長間違った  
と思っていたら、新型コロナウイルスで20  
20年から社会経済の歴史に残る転換点とな  
りました。企業にとっては感染拡大に伴う生  
活様式の変容と消費激減に加えて、デジタル  
化により、これまでの慣習、取組が根底から  
覆る事象が発生、これに対処しなければ勝ち  
残れない厳しい局面を迎えていると思います。  
当社でもコロナ対策は大変でした。感染を

想定して別に事務所を借りて、二重体制を敷  
きました。インターネット決済の伸び率が急  
伸びています。QRコード、電子マネー決済  
でキャッシュレスを実感されていると思いま  
す。顧客とのコミュニケーションはスマホ、  
Web、メール、SNS経由となって就活面  
接もほとんどWeb化になってしまいました。  
当社もこれまでの延長ビジネスでは勝ち  
残れない、副業の新規事業開発と社員自体の  
働き方を変える人事・賃金改定に着手してい  
ます。年功序列、定年制などは急速に無くなっ  
て行くことになるでしょう。

(司会) 五十嵐副会長からは、仕事柄、いろ  
いろ状況を見ておられると思います。全体的  
な視点から現状と課題をお聞かせ下さい。

(五十嵐副会長) 新型コロナウイルスの長期化に加え、  
ウクライナ問題に端を発する物流の停滞や資  
源高、そして昨今の円安を背景とした物価の  
上昇など、県内経済を取り巻く環境は大変厳  
しい状況にあると思います。

とくに感染症の影響が大きい業種では政府  
の補助金や無利子無担保融資、いわゆるゼロ  
ゼロ融資などの調達により、資金繰りは落ち  
着いていますが、今後は売上げの回復が弱い  
中で、借入の返済が始まるため抜本的な経営  
改善に取り組んでいかなければなりません。

最近、廃業する企業が増えてきているのが  
心配です。もともと地方は少子高齢化や首都  
圏への人口流出という構造的な問題を抱えて  
いますので、地元企業は後継者や経営人材の  
確保に頭を悩ませています。われわれ地域に  
ある金融機関はご融資の相談だけ(2面へ)

ではなく、販路の拡大や事業承継のお手伝い、あるいはコスト削減策など、さまざまな面からお客様のお役にたてるよう、しっかりと組織んでいかなければならないと思っています。

## 母校創立120周年

### 同窓会への期待と役割

(司会) それでは2つ目のテーマ、同窓会活動についてお話しいただきます。こちらは羽生会長からお願いします。

(羽生会長) 非常に根源的な問いかけです。

第3代故鈴木彦治会長が、「ひろがり」第11号のなかで、「初代故阿部善会長が、同窓会の理念について、『友愛と団結・奉仕は報われる』と語られていた」と述べています。今思えば企業理念と同じで同窓会活動の意義、向かう先について、もっと深く考察する場の設定と行動が必要だったと反省しています。

平成21年から役員的一端を仰せつかりましたが、特にこの間、東日本大震災があったこと、紆余曲折いろいろありましたが、役員皆さんの知恵と行動力で、広報誌「ひろがり」の復刊や、在仙同窓会30周年を記念して母校震災対応のための拠金活動を実施、150万



羽生正弘会長  
○日専連ライフサービス代表取締役会長  
○中田中出身○18回生○フェンシング部

円を拠金したことなどが大きな動きでした。会の運営では、広報誌、ゴルフ愛好会、総会時講演など活動の柱を創ること、その運営に広く知恵を結集することに気を使いました。仙台という都市はわが国有数の発展都市、そこに集う同窓生は今後も大きく羽ばたくでしょう。今後の同窓会はそのような若手の参画でさらに発展して行かなくてはなりません。次期の若手役員の皆様に期待したいと思っています。

(司会) 学校の状況や課題、新校舎建設の状況など、ご紹介いただきたいと思っています。

(狩野先生) 多くの高校では、少子化に伴い、入学定員確保が大きな課題となっております。しかし、本校では定員を上回る志願数があり、本校への期待の大きさがうかがえます。登米市以外にも他市町から2割弱の入学生がおり、今後も入学して良かったと思ってもらえる魅力ある高校づくりを進める必要があると思っています。

新校舎の状況ですが、現在、仮設校舎の建設が行われ、来月7月の末には完成し、夏休み明けからプレハブの仮設校舎で学校生活を送ることになっています。新校舎の完成は3年後の令和7年春の予定です。仮設校舎にいる間、生徒には不自由な生活を強いることになりそうですので、しっかりと、教育の質の担保はして参りたいと思っています。

同窓会への期待ですが、コロナ禍の前からですが、近年、縦のつながり、人とのつながりの希薄さが課題となっております。是非、つながる機会を設けて、同窓会の皆様とはつ

ながりを持ち続け、120年の伝統と歴史を未来永劫つないで参りたいと思っていますので、引き続きご支援ご協力をお願いします。

(司会) 最後に次期会長に推薦されています五十嵐副会長にお願いします。同窓会活動への抱負や母校(在校生)への期待など、お話しをお願いします。

(五十嵐副会長) 羽生会長より次期会長へのご推挙をいただいておりますが、歴代の諸先輩が築きあげてきた歴史ある在仙佐高会ですので、みなさんのお力をお借りしながら、会の目的にあります会員相互の親睦充実に貢献して参りたいと考えています。

在校生のみなさんにはコロナ禍のなか不自由な学生生活を送られていることと思いますが、そうしたなかにあっても是非新しいことや、自分が目指す目標に向かって積極的にチャレンジしていただきたいと思っています。

最近、学生時代に起業する若者が増えてきており大変頼もしくおもっているところですが、就職し会社員となっても高い目標に向かって、常にチャレンジしていく人間でないと成長しませんし、企業にも必要とされません。私は高校時代野球漬けの3年間で自慢できませんが、学業や部活、何でも良いのですが、



五十嵐信副会長  
○(株)七十七銀行代表取締役専務○宝江中出身○27回生○硬式野球部

常に高い目標を目指してチャレンジし、充実した学生生活を送っていただきたいと思います。

(司会) ありがとうございます。それでは、最後に皆さんからひと言ずつお願いします。

(羽生会長) 新しい事にチャレンジする事は、どの時代、年齢に関係なく必要です。今回「WEB座談会」も在仙のチャレンジですが、挑戦する、行動することでも思いもかけない新しいことが生み出されるものです。このことを大事にしましょう。

(狩野校長) 先輩方があちこちで活躍されている事を改めて感じました。新しい事へのチャレンジは常々思っていますし、登米地域の方、例えば登米市役所や企業と「探求学習」という授業で連携を始めています。また、難しい事ではありますが、若い人を発掘して同窓会へ巻き込み、歴史と伝統をつないでいきたいと思います。あらためて、本日の出会いに感謝します。

(五十嵐副会長) 学校の状況を聞いて新鮮でした。「定員割れ」をよく聞きますが、母校はまだ、入学を希望する生徒の方が多いんだと安心しました。

企業の方と会う機会は多いのですが、若い人がどういう事を考えているのか興味があります。経済成長がない中、そしてコロナで苦労して勉強している生徒達を思うとかわいそうですが、頑張っただけ。何か応援を形にしていきたいと思っています。

(司会) 今日は忙しい中、大変ありがとうございました。

## 新体育館完成 新校舎 令和7年3月完成予定

新体育館が令和3年6月に完成し、すでに利用を開始しています。同月22日には、完成を祝って新体育館落成記念行事が実施されました。内容は、音楽系文化部の発表を中心とし、吹奏楽部・軽音楽部・箏曲部・合唱部が演奏し、全校生徒で鑑賞するといった内容でした。演奏した生徒達にとつて、コロナ禍にあり発表の機会が少なくなっていた時期であったため、とても有意義なものとなったようです。

現在は、体育の授業をはじめ、放課後の部活動、入学式や卒業式といった学校行事に利用しています。新体育館は気密性があり、また換気も良いため、夏場や冬場の寒暖が厳しい時期においては、以前の体育館と比べ格段に過ごしやすくなっています。また、天井の照明がLEDのため、使いたいときにすぐに照明が使えるのがとても便利です。さらに、

新体育館の外周がタータン敷きとなっているため、外の部活の雨天ランニングコースとして利用しています。

新校舎建設については、現在仮設校舎の建設が進んでおり、今年7月に完成の予定です。これまでの工事は、旧体育館と第3学習室の解体が終了しており、このあと新しいテニスコートになります。仮設校舎は、第1グラウンドにコの字型の3階建てで建設されます。8月に引越の予定で、その後現校舎は解体となります。

新校舎の概要としては、現校舎が建っているあたりにコの字型の4階建て校舎として建設される計画です。北門周辺も自転車置き場が移設されるなど整備が入り、佐沼高校のイメージが一新されるのではないかと思います。完成予定は、令和7年3月となっています。（同窓会事務局 佐藤和典・高33回生）



新体育館落成記念行事での合唱部発表風景（令和3年6月22日）



新体育館での令和4年度入学式風景（令和4年4月8日）

## 母 校 通 信

5月下旬から6月にかけて、令和4年度宮城県高等学校総合体育大会が開催され、現在もまだ続いている種目もあります。今年度は、3月の地震の影響で使えなくなった施設があり、大幅に変更になった種目もあります。

また、コロナ対策として種目により有観客、保護者限定の有観客、無観客と競技により実施の条件が異なりましたが、全ての競技で大会が開催されました。その主な結果についてお知らせします。

### 【陸上競技部】

男子棒高跳 第1位、第4位、第5位（東北大会出場）  
女子七種競技 第3位（東北大会出場）

### 【ボート部】

女子ダブルスカル 第1位（東北大会出場）  
男子ダブルスカル 第2位（東北大会出場）  
女子シングルスカル 第2位、第3位（東北大会出場）  
女子舵手付クォドルプル 第2位（東北大会出場）  
男子舵手付クォドルプル 第3位（東北大会出場）

### 【ラグビー部】

準優勝（東北大会出場）

### 【剣道部】

女子団体 3位（東北大会出場）  
男子団体 予選敗退

### 【柔道部】

男子60kg級 3位（東北大会出場）

### 【ソフトテニス部】

男子団体 3回戦敗退  
女子団体 1回戦敗退

### 【バドミントン部】

男子団体 2回戦敗退  
女子団体 2回戦敗退

### 【バスケットボール部】

男子 2回戦敗退  
女子 3回戦敗退

### 【バレー部】

男子 2回戦敗退  
女子 2回戦敗退

### 【ソフトボール部】

2回戦敗退

### 【卓球部】

男子団体 3回戦敗退  
女子団体 2回戦敗退

### 【サッカー部】

2回戦敗退

### 【ハンドボール部】

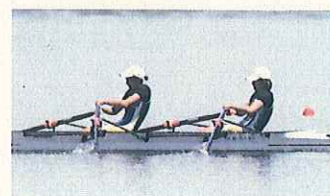
1回戦敗退

県総体後に行われている東北大会の状況については、6月23日時点で陸上競技部が男子棒高跳びで5位に入賞し、インターハイへの出場を決めています。

同窓会事務局 佐藤和典（高33回生）



男子棒高跳び第1位の浅野廉選手



ボート女子ダブルスカル第1位の黒田恵真・大場日湖選手

## 座・談・会 33回生

### 「佐沼高校」は「佐沼高校」 いつまでも変わらないで欲しい

コロナの爆発的な感染拡大で心配していましたが、ようやく落ち着き、「ウイズコロナ」、今年は3年ぶりに総会を開催する事になりました。

6月16日、今年の総会の当番幹事の33回生4名が集まり、近況報告や高校時代の思い出、母校、郷土への思いを語ってもらいました。  
(敬称略)

#### 自己紹介と近況報告をお願いします

(佐々木真奈美) 津山中出身です。現在は、「けやき薬局」でグループ統括と管理薬剤師、宮城県薬剤師会理事をしながら、東北放送ラジオで、「佐々木真奈美のあつぱとつぱファ



マシー」という番組を担当しています。

これまで「やるぞー」と思っていた事を、ひとつひとつ、まだまだ夢はあると、頑張っているかと思っています。

部活はバレエ部から音楽部に移り、最終的には陸上部で卒業アルバムに載っています。  
(千葉信久) 中田中出身です。現在はセミリ

タイヤです。母親が倒れ、4年前に長く勤めていた住宅営業をやめて、介護と趣味のゴルフに生きがいを感じています。

ネクスコ東日本の料金の仕事で、1日働いて2日休みという形で、週に4、5日、施設で母親に会う環境が見つかり、精神的な面での介護ですが、しています。

部活はバレエ部に入りましたが2年の体育の授業で脱臼、それをきっかけに途中でやめ、フォークソング同好会や地学班で楽しんでいます。

(高橋正枝) 中田中出身です。泉区に住んでいます。服飾関係の専門学校に入り、服飾関係の仕事をしていました。10数年前から、「カープス」という女性専門の体操教室で、インストラクター、健康アドバイザーをしています。家族は孫が2人と犬と猫、毎日にごやかに過ごしています。部活は卓球部を2年位までやって、最後は生華部でした。

(高橋英勝) 米山中出身で、現在は米山に住んでいます。大学を卒業してずっと高校の教員で、現在は芳賀一郎先生の母校の気仙沼向洋高校で校長をしています。

気仙沼高校に10年間、その後佐沼高校に平成7年から8年間勤めました。100周年の時、英語とラグビー部をもって、同窓会とも関わっていました。その後は仙台に13年、実家をリフォームし6年前に戻りました。

部活は軽音楽部に入りましたが、芳賀先生に声をかけられ、1月頃からラグビー部に入り、一応最後までやりました。

(司会) ここ2、3年、芳賀先生のお話がよく出ますね。

(佐々木) 今日まさに、ラジオの番組で芳賀先生の話をしてきました。

(英勝) 先生は、4月から向洋高校の旧校舎の脇にできた伝承館の館長をしています。

#### 同級生や同窓生との交流は

(佐々木) 佐高女子会「SJK」といグループがあつて、コロナ前までは定期的に女子だけで集まっていました。

(英勝) 「仙台同窓会」の流れなの。佐々木雄幸君が世話をしてくれていた。私も1度出た事がある。



佐々木真奈美さん

(佐々木) 男子の方は、定期的に集まったりしているの。

(英勝) 私は、地

元の連中とは結構集まっている。応援団長の佐藤朝哉君が、地元で床屋をやっている、そこにずっと行っている。何人か他の同級生も来ていて、そこいろいろな情報を聞いている。

(正枝) 「銀河スタジオ」の高橋博幸君、通称「ジャンボ」から、いろいろな情報も聞いています。

(英勝) ジャンボは、卒業アルバムの担当をずっとしているので、いろいろな情報が集まってくる。

#### 高校時代の思い出は

(司会) ラジオを聞いていたら、真奈美さんはバイク通学だったようですね。

(佐々木) バイクで通っていました。自宅の駐輪場から学校の駐輪場までちょうど15キロあつて。ハヤオ(駿)先生と英語の佐竹先生が生活指導で、ヘルメットのグリーンの2本線貼ってないなどと、校門で見張っているんだよね。

(千葉) また、芳賀先生ネタですけど、あの頃、「ボルグとマッケンロー」人気でテニス熱が高まり、何人かで「硬式テニスをやりたい！」と芳賀先生に話したら、トロフィーを作ってもらった。「アドバンテージ杯」として持ち回りで試合をした思い出がある。

(佐々木) 佐高杯争奪戦、すごく楽しかった。3年間体育委員で、司会や進行をするようになって、友達から、スピーカーから流れてくる声が訛っているから「真奈美だな」と言わ

れたり。当時から訛っていた。

(正枝) 眞奈美ちゃん、チアやってたよね。  
(佐々木) そう、1年生の時。ボンボンもつて、評定河原球場に応援に行つて、KHBのカメラに下からなめられたりして。(足下から上に向かってなめるように全体を映される)

(英勝) 覚えているのは、学校行事とか文化祭とか。  
(正枝) 文化祭で、ハンバーガーショップとかしたね。

(千葉) 体育部で文化祭にあまり参加できないので、なんかやりたいなと思つて。女性に厨房を任せ、男子が帽子かぶつて給仕した。

(正枝) ウジエスパでマルシンハンバーグを買つて、みんなで一生懸命作つて、あつという間に売り切れた。

(英勝) 何かを作つたけど覚えていない。ただ打ち上げをした事だけは覚えている。

(佐々木) 夏合宿。例えば私は、ハンドボール部の合宿の時に料理人で、一緒に泊まり込んで、朝昼晩、全部食事を作つたりした。当時は、女子男子、結構さつくりと合宿所にいたよね。古き良き時代というか。

(正枝) 斬新だったのは野球部の芋煮会。「彼女同伴」。彼女ではなかったけどトラさん(千葉君)に誘ってもらつた。みんなペア



高橋正枝さん

でバスの中に座つて、秋葉先生もいた。「青春の1ページを」と書いてある硬式ボールを記念にもらつて、今

もつてあります。

(英勝) 先輩達の時にいろいろあつて、修学旅行がなくてクラス旅行だった。筑波に行つたけど、見た所は大した事ないけど、なんかその時の思い出は残っている。

(正枝) 私たちは、横浜、鎌倉。

(佐々木) 私たちは、富士、河口湖へ行つた。

(英勝) そういえば、1年の「栗駒登山」、いやいや「スキー合宿」の時か。

(千葉) あつ! (全員笑い)。主某者に入つていました。

(司会) 何かあつたんですか?

(英勝) まあ、ちよつとね。その後、みんな個人面談して。

(千葉) 春休みが潰れましたね。

(佐々木) 家から出るな!と言われてね。

(千葉) ラグビーの応援に陸上競技場に行つた記憶がある。あれは決勝ではなかったの?

(英勝) 違う、違う。ベスト4、3強と言われていて。佐沼と三高と多賀城、結局潰し合つて、石巻工業が優勝した。

実は今日東北大会があつて、県総体で佐沼が準優勝で出場している。青森山田にやられましたが見てきました。今はちょうど、花園に出た代の連中が親になって、スクールが盛んで強いですよ。ただ、育英は強いですが。

### 母校や郷土への関わりや思いを

(司会) 田舎へ帰られることはありますか。

(正枝) 月に1、2回。主人の母がいま一人いるので、なるべく時間を作っています。

あととちよつと、ジャンボさんとか朝哉君

の所とか、近いので寄らせてもらつて。同級生がお店とかしている、寄りやすいですね。

(佐々木) 私は長く登米市の成人式の司会をして、ずっと関わつて来ました。同級生のお

子様が二十歳を迎えるようになり、「なんだ、お前が司会か!」なんて。先日は、登米署の

一日署長をしました。郷土の為に今後もやっていきたい。あとは、ラジオの方で、ちよいちよい佐高の思い出を披露しています。

(千葉) 登米には、結構、方言があるから面白いというか。アクセントがないんだよね。

関東の大学に進学した友達が、まず自分の名前の発音を直されたつて。

(ここからしばし、登米地方の方言や訛りの話で盛り上がり過ぎ、収容不能)

(佐々木) 核家族化で、方言に触れる機会が少なくなつて、だんだん廃れて行くんだろ

なと思う。登米市の言葉も意識して残して行かないといけないと思う。

(千葉) 佐沼には、登米市内から優秀な子供たちが集まつて来ていると思う。良い指導者が必要と思うけど、勉強と併せ、スポーツとか文化とか、そちらの方も佐高の特徴になる

ように期待しています。

(佐々木) 校名が変わらなくてよかったと思つて。県内

でも多くの高校の



千葉信久さん



高橋英勝さん

名前が変わつて、「この高校つて。佐沼高校は佐沼高校のままで、変わらないで欲しい。(英勝) 佐沼は、

新校舎にもなるし、体育館もできたし、変わらないと思うよ。

(司会) 昨年は、「おかえりモネ」で、登米市は全国的に注目されましたね。

(英勝) 結構、人が来るようになってる。「能舞台」や「モネの家」など。この間の連休も、道の駅の駐車場がいっぱいで入れなかった。

登米市に戻り6年位ですが、「いい所だな」と思いながらも、だんだん田んぼが消え、景観自体が変わつて。なんとも言えない寂しさを感じる。昔は当たり前の景色が、すごく変わりつつある。さっきの眞奈美さんの方言ではないけどね。

登米市をよくする会というものがあつて、いろいろな事をやっている。主催される会に私も参加したりして、何かそういうことで、登米市のためにやればいいかなと思つています。

(事務局) この後、登米地方の名所や懐かしい銘店が次々飛び出し、観光のあり方などを熱く語っていました。報告では、座談会終了後の懇親会でも、地下鉄最終まで、楽しく議論は続いたそうです。お疲れ様でした。総会幹事よろしく願います。

れたり。当時から訛っていた。

(正枝) 眞奈美ちゃん、チアやっていたよね。  
(佐々木) そう、1年生の時。ボンボンもつて、評定河原球場に応援に行つて、KHBのカメラに下からなめられたりして。(足下から上に向かつてなめるように全体を映される)

(英勝) 覚えているのは、学校行事とか文化祭とか。  
(正枝) 文化祭で、ハンバーガーショップとかしたね。

(千葉) 体育祭で文化祭にあまり参加できないので、なんかやりたいなど思つて。女性に厨房を任せ、男子が帽子かぶつて給仕した。  
(正枝) ウジエスパでマルシンハンバーグを買つて、みんなで一生懸命作つて、あつという間に売り切れた。

(英勝) 何かを作つたけど覚えていない。ただ打ち上げをした事だけは覚えている。  
(佐々木) 夏合宿。例えば私は、ハンドボール部の合宿の時に料理人で、一緒に泊まり込んで、朝昼晩、全部食事を作つたりした。当時は、女子男子、結構さつくりと合宿所にいたよね。古き良き時代というか。

(正枝) 斬新だったのは野球部の芋煮会。「彼女同伴」。彼女ではなかったけどトラさん(千葉君)に誘つてもらつた。みんなペアでバスの中に座つて、秋葉先生もいた。「青春の1ページ」と書いてある硬式ボールを記念にもらつて、今



高橋正枝さん

もつてあります。

(英勝) 先輩達の時にいろいろあつて、修学旅行がなくてクラス旅行だった。筑波に行つたけど、見た所は大した事ないけど、なんかその時の思い出は残っている。

(正枝) 私たちは、横浜、鎌倉。

(佐々木) 私たちは、富士、河口湖へ行つた。

(英勝) そういえば、1年の「栗駒登山」、いやいや「スキー合宿」の時か。

(千葉) あつ! (全員笑い)。主某者に入つていました。

(司会) 何かあつたんですか?

(英勝) まあ、ちよつとね。その後、みんな個人面談して。

(千葉) 春休みが潰れましたね。

(佐々木) 家から出るな!と言われてね。

(千葉) ラグビーの応援に陸上競技場に行つた記憶がある。あれは決勝ではなかったの?

(英勝) 違う、違う。ベスト4、3強と言われている。佐沼と三高と多賀城、結局潰し合つて、石巻工業が優勝した。

実は今日東北大会があつて、県総体で佐沼が準優勝で出場している。青森山田にやられましたが、見てきました。今はちょうど、花園に出た代の連中が親になって、スクールが盛んで強いですよ。ただ、育英は強いですが。

### 母校や郷土への関わりや思いを

(司会) 田舎へ帰られることはありますか。

(正枝) 月に1、2回。主人の母がいま一人で行るので、なるべく時間を作っています。

あとはちよつと、ジャンボさんとか朝哉君

の所とか、近いで寄らせてもらつて。同級生がお店とかしていると、寄りやすいですね。

(佐々木) 私は長く登米市の成人式の司会をして、ずっと関わつて来ました。同級生のお子様が二十歳を迎えるようになり、「なんだ、お前が司会か!」なんて。先日は、登米署の一日署長をしました。郷土の為に今後もやっていきたい。あとは、ラジオの方で、ちよいちよい佐高の思い出を披露しています。

(千葉) 登米には、結構、方言があるから面白いというか。アクセントがないんだよね。関東の大学に進学した友達が、まず自分の名前の発音を直されたつて。

(ここからしばし、登米地方の方言や訛りの話で盛り上がり過ぎ、収容不能)

(佐々木) 核家族化で、方言に触れる機会が少なくなつて、だんだん廃れて行くんだろ? などと思う。登米市の言葉も意識して残して行かないといけないと思う。

(千葉) 佐沼には、登米市内から優秀な子供たちが集まつて来ていると思う。良い指導者が必要と思うけど、勉強と併せ、スポーツとか文化とか、そちらの方も佐高の特徴になるように期待しています。

(佐々木) 校名が変わらなくてよかったと思つて。県内でも多くの高校の



千葉信久さん



高橋英勝さん

名前が変わつて、

「この高校つて。」

佐沼高校は佐沼高校のままで、変わらなくて欲しい。

(英勝) 佐沼は、

新校舎にもなるし、体育館もできたし、変わらないと思うよ。

(司会) 昨年は、「おかえりモネ」で、登米市は全国的に注目されましたね。

(英勝) 結構、人が来るようになって。『能舞台』や『モネの家』など。この間の連休も、道の駅の駐車場がいっぱいで入れなかった。

登米市に戻り6年位ですが、「いい所だな」と思いながらも、だんだん田んぼが消え、景観自体が変わつて。なんとも言えない寂しさを感じる。昔は当たり前の景色が、すごく変わりつつある。さっきの眞奈美さんの方言ではないけどね。

登米市をよくする会というふうのがあつて、いろいろな事をやっている。主催される会に私も参加したりして、何かそういうことで、登米市のためにやればいいのかと思つています。

(事務局) この後、登米地方の名所や懐かしい銘店が次々飛び出し、観光のあり方などを熱く語っていました。報告では、座談会終了後の懇親会でも、地下鉄最終まで、楽しく議論は続いたそうです。お疲れ様でした。総会幹事よろしく願います。

## 佐藤正弥先輩等が執筆

## 『佐藤惣右衛門物語』

佐藤正弥先輩（高11回生）が中心となつて執筆した書籍『カナダ移民のバイオニア 佐藤惣右衛門物語』が昨年秋出版された。正弥さんの父親・弥市先生は私の錦織中学入学時の校長で、佐藤惣右衛門は弥市先生の伯父に当たる。

佐藤惣右衛門は明治9年、現在の登米市東和町錦織に生まれ、17歳の頃にカナダに渡航。後にバンクーバーのフレイザー河の二つの島に塩鮭や筋子の工場を作り日本に輸出する事業を成功させた。カナダ移民のバイオニアである。

この話は昭和54年、新田次郎が『密航船水安丸』というノンフィクション小説を発表し話題となった。ただ小説の主人公は佐藤惣右衛門ではなく米川出身の及川甚三郎だ。二人は親戚で、及川甚三郎は佐藤惣右衛門の後を追うようにしてカナダに渡り、一緒に事業を始めたのである。ところで「密航」についてだが、一時帰国した及川甚三郎が明治29年、帆船水安丸に同郷の82人を乗せて石巻の萩浜を出港、バンクーバー島ビクトリアに入港する。密航者は強制送還が建前だったが日本領事館の特別な計らいで正式移民として扱われたという。

及川甚三郎は大正6年に日本に引き揚げ、最後の夢を現在の石巻市の広瀬沼干拓にかけたがかなわず、昭和2年に享年73歳で世を去った。よって小説の方はここで終わる。

一方今回の『佐藤惣右衛門物語』は及川甚三郎が日本に戻った後も、宮城からの移民の足跡を丹念に追う。太平洋戦争が勃発、日本からの移民は市民権を剥奪され、強制移動、離散という過酷な運命を余儀なくされる。戦後長い年月をかけて市民権を回復、強制処分された資産の補償問題等に取り組み。

この本を登米市内の三高校と東和中に贈った際、正弥さんは挨拶文に「争いが起きたとき、武力による解決を求めている絶対ダメ。必ず話し合いで解決することを学んでほしい」と記している。

本は正弥さんと義弟・梅津恒夫氏、そして末の妹船坂朗子氏の3人が主に執筆した。掲載されている写真や資料の多くは弥市先生が所蔵していたもので、これがあればこそ現地取材を加えて「カナダに宮城の村建設の夢を賭けた人々」の歴史を後世に伝える本をまとめることができたものと思う。ぜひ一読を。

佐々木鉄男（高25回生）



『佐藤惣右衛門物語』  
（佐藤正弥氏他著）

## 巨星墜つ

## 丸森仲吾元会長 逝去

## 在仙同窓会会長を10年間



故 丸森仲吾氏  
東和町出身（高3回）  
写真提供＝（株）七十七銀行様

在仙同窓会元会長の丸森仲吾さん（高3回生）は、令和3年10月25日、逝去されました。平成7年から10年に亘り会長を務められ、同窓会の発展にご尽力いただきました。ご冥福をお祈りいたします。

丸森さんは、（株）七十七銀行頭取、仙台商工会議所会頭などを歴任、旭日中綬章、仙台市特別市功労者賞を受賞されるなど、地元経済・文化・スポーツ活動にも貢献されました。元会長を偲び、羽生会長よりご寄稿いただきました。

## 在仙同窓会第四代会長

## 故 丸森仲吾氏を偲ぶ

昭和五十九年に設立された在仙同窓会から関わり、平成七年から十年間に亘り第四代会長として在仙の後輩を導いて来られた丸森元会長が、令和三年十月二十五日永眠されました。

バブル崩壊期の金融連鎖破綻、日本経済が低迷する時代を七十七銀行頭取として活躍さ

れ同行の今日の確固たる地位を築かれました。数多くの経済団体要職を歴任、地域経済発展に寄与、政財界から絶大な信頼を寄せられておられました。そのご功績は語りつくせず、私共在仙同窓会としては正に「巨星墜つ」の思いであります。

母校時代、東北大学、七十七銀行時も野球に情熱を傾け「献身、窮理、力行、至誠」そして校是である「文武両道」を見事に体現されて来られました。

毎年の同窓会総会懇親会では大柄な頑健な体躯で各テーブルを廻られ杯を上げるお姿が偲ばれます。平成二十五年七月発行広報誌「ひろがり」には東日本大震災で被災された同窓皆様への深いお見舞いの言葉と共に「佐沼・在仙の気概を繋ぎ輝け」と題して在仙後輩の活躍と同窓会の指針となる寄稿を寄せられました。

新型コロナウイルス、ウクライナ戦争の影響など、今日私共後輩を取巻く環境は隔世の感が否めない時代となりましたが、故丸森元会長の教えを守り同窓の絆と同窓会の発展に努力して行くことを誓いたいと思います。

結びに母校教師で百周年記念事業の事務局長を務めていた十八回生高橋武比古氏から故元会長を偲び俳句が寄せられました。

畢生（ひつせい）の野球少年雲の峰  
財界の巨星の里や花山椒

ご冥福を心からお祈り申し上げます。

（在仙同窓会会長 羽生正弘 台筆）

## 活躍する在仙同窓生

### 多くの人や機会に恵まれて

(公財) 仙台市市民文化事業団  
専務理事兼事務局長

佐藤ゆう子さん (高33回生)



佐藤さんは、沼高校を卒業後、東北大学に入学。その後、長年仙台市役所に勤務し、仙台市民の生活に

関わる仕事に数多く携わってきました。昨年度までは若林区副区長を務められ、今年度から仙台市の外郭団体である仙台市市民文化事業団勤務に。

私がお伺いしたのは仙台国際音楽コンクールの開催時期。事業団事務所はコンクール会場となっていた日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター)内にありますので、華やかな盛り上がりや霧の空気を肌で感じながらの取材となりました。

リポート・在仙同窓会副会長渡辺祥子  
(高36回生・フリーアナウンサー)

### 一人ひとりが尊重される場所

(渡辺) 公務員を志したきっかけは何だったのでしょうか？

(佐藤) 男性も女性も関係なく仕事ができるのは公務員ではないか、という漠然としたイメージがありました。一人ひとりがそれぞれの能力を発揮できたり、それを正當に評価してもらえる場であることが魅力だと思ったのだと思います。

(渡辺) 今から40年ほど前にそのような考え方を明確に持っていたのはめずらしかったのでは？

(佐藤) 実家は農家なのですが、農家の仕事は男女の関わる仕事は違っても、それぞれが必要不可欠な役割を担っています。もしかしたらそのような環境がベースにあつて、そうした考えを持つようになったのかもしれない。

(渡辺) 公務員生活で、その思いは果たされましたか。

(佐藤) はい。人や機会に本當に恵まれたと想っています。まず入所時は福祉事務所勤務、その後広報課、人事課、生涯学習課、観光交流課など様々な仕事を経験しましたが、その経験はとても貴重だったと思います。

また、本来の私は消極的で、自分だけだった管理職を目指そうとは思わなかったかもしれないが、上司が声をかけて励ましてくれたおかげで挑戦してみようという気持ちになれました。そして結果的には自分では無理だと思っていた役割にも周囲のサポートを受けながら取り組むことが出来たのです。そうした機会を得られたのは、幸せなことだったと思います。

(渡辺) 女性の社会進出の促進が叫ばれて久

しいですが、佐藤さんのようなロールモデルが沢山出ることは、後進の女性たちの励みになりますね。

(佐藤) ロールモデルがあることは大切だと思いますが、やはり私が経験したように、後押ししてくれる周囲の方々の存在がとても大事だと思います。

まだまだ社会が成熟していないのでしょうか、力があるのにそれを発揮できるポジションを目指さない女性を沢山見ました。そうした女性自身の意識を変えていくためには、社会の構造や周囲の方々の考え方を変えていく必要があると思います。

環境が整い、のびのびと社会で自分の力を発揮できる女性たちがもっと出てくるとよいなあと 생각합니다。

### 故郷が与えてくれたもの

(渡辺) 佐沼高校時代の経験が役に立ったと思われることはありますか？

(佐藤) 今お話をした、後押ししてくれる人たちの存在の大切さにつながるのですが、先生方からはいつも励ましの言葉をかけて頂きました。

常に、あなたならできると期待を下さる先生方のまなざしがあったからこそ、大学受験も頑張れたのだと思いますし、期待に応えることで自分の力が引き出されるという体験は、卒業後も自分を成長させてくれたと思います。

(渡辺) ご出身は米山町と伺いました。

(佐藤) そうです。毎日約10キロの道のりを自転車です通っていましたよ。雨の日も風の日も雪の日も。そのお陰で体力と精神力が養われたかしら(笑)。35年間の役所生活を大きな病気もせずに健康に過ごせた要因になったかもしれませんね。

また、自然の風景に包まれながら大らかに過ごした日々は、今思えば、思い切つて何にでも挑戦してきた私の役所人生を支えたのかもしれません。

(渡辺) これから取り組みたいと思っていることはありますか？

(佐藤) せっかく文化・芸術に関わる事業団に来たので、仕事だけでなくプライベートでも様々な文化に触れたいと思っています。実は高校時代は美術部に所属していました。絵を描くのはあまり上手ではありませんでしたが、これからは鑑賞する側で楽しみたいと思っています。

(渡辺) 今日は色々お話を伺い、後輩として刺激を受けましたし、勇気を受け取りました。ありがとうございました。



日立システムズホール仙台の前で  
佐藤さん(左)と渡辺さん(右)

常任幹事会・期別幹事会報告

次期会長に五十嵐副会長を推薦

3年ぶりの総会開催を決定

在仙同窓会の常任幹事会が5月23開催され、3年ぶりの総会開催が決定されました。会議では、羽生会長から、「感染対策を徹底、3年ぶりに総会を何とかして開催したい」と挨拶があり、審議に入りました。

議題では、「令和3年度事業報告・決算報告」、「令和4年度事業計画・予算(案)」が承認されました。続いて、総会開催について審議され、3年ぶりに総会を開催する事が決定されました。尚、コロナの状況に大きな変化も予想される為、正式開催は7月中旬までに決定する事を三役に一任されました。

続いて、役員改選について審議、昨年の常任幹事会・期別幹事会で次期会長に五十嵐信副会長(高27回生)が推薦されている事を、改めて確認されました。新役員の皆さんは総会で紹介されます。

また、6月6日には、期別幹事会が開催され、羽生会長が欠席の為、蛭名副会長が議事を進め、常任幹事会での決議事項等の報告があり、いずれも承認されました。その後、同窓生の総会への参加促進や若手幹事の推薦など意見交換がありました。

これからコミュニケーションをとるためには、ラインなどの活用を検討しては、との提案もありました。

最後に、渡辺祥子副会長から、「出席の皆様

さんで、自己紹介しよう!」との音頭で、参加者から近況報告等、あいさつがありました。

◆佐沼高校同窓会

第4回懇親ゴルフコンペ開催

第4回佐沼高校同窓会懇親ゴルフコンペは、令和3年9月9日(木)、松島チサンカントリークラブ松島コースにおいて開催されました。オール佐沼同窓会の懇親をゴルフでも深めようと平成30年に第1回大会が開催され、昨年にも新型コロナウイルス感染防止対策を徹底、午前のハーフコンペで開催、総勢80人が集い、天気に恵まれゴルフの楽しさを満喫、懇親を深めました。在仙同窓会からも多くの方が加りました。優勝はネット33・8(グロス59)でプレーした佐藤信男さん(高23回生)、おめでとうございました。尚、第5回コンペは、9月29日(木)、杜の都ゴルフ倶楽部で開催の予定です。

第4回佐沼高校同窓会懇親ゴルフコンペ成績上位者

令和3年9月9日：松島チサンカントリークラブ松島コース

順位	氏名	卒回数	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	佐藤 信男	23回		59	59	25.2	33.8
準優勝	渡辺 政利	27回	39		39	4.8	34.2
3位	長野 哲	20回		49	49	14.4	34.6
4位	菅野 尚子	28回	47		47	12	35
5位	只野 英博	46回		45	45	9.6	35.4
6位	太田 陽平	38回		45	45	9.6	35.4
7位	大久保正美	21回	45		45	9.6	35.4
8位	田代 諄	19回		44	44	8.4	35.6
9位	蛭名 修	23回		44	44	8.4	35.6
10位	中津川澄男	38回		44	44	8.4	35.6

\*同スコアの場合は、年齢上位者

年会費納入のお願い

在仙同窓会の活動は、在仙同窓生の皆さんの年会費で運営しております。会員皆様へのご案内の郵送料、広報誌ひろがりの制作と印刷代、その他用紙文具通信費などを年会費から支出しております。誠に恐縮ですが、1人2000円の年会費納入を、今年もよろしくお願い申し上げます。(在仙同窓会事務局)

◆情報をお待ちしています

お知らせの同窓生の活動や、活躍している情報(同期会、趣味、サークル、イベント、著作等の活動等なんでも)がありましたら、ぜひ事務局へご連絡をお願いします。

在仙同窓会事務局/榎ホットハウス内

(担当・岡本) 電話(215) 7787

◆編集後記

コロナ禍、2年以上が経過した。「ウィズコロナ」、3年ぶりに総会を開催する。「ピンチはチャンス」。今まさに、変化、新たな挑戦の時と、オンラインでの「トップ3」座談会が生まれた。母校の様子など、「生き生き」と感じてもらったのでは。33回生座談会、今では当たり前の「男女共学」、男女2人ずつの参加もあつてか、とても楽しく家族的な雰囲気、先輩としても「いいな」と感じた。そして、高橋さんの「(米山の)景色が変わりつつある」とのお話、思わず、一面黄金色に輝く地平線が蘇った。多分、あの場所だろうな。編集委員長・佐藤新光(高25回生)



ホットハウス

住み替えて始まる素敵生活! 不動産のことならホットハウスへ!

代表取締役 日下 敦(高第30回生)  
仙台市青葉区本町1丁目5-31  
1a 022(215) 7787

株式会社大成ハウジング

代表取締役 佐々木良泰

(高第三十一回生)

仙台市若林区荒井五丁目十九番地の四  
022(215) 3326

ゆうファミリークリニック

院長 高橋裕一

(高第三十回生)

宮城県宮城郡利府町府字新館二十五  
022(766) 4141

㈱日専連ライフサービス

『笑顔で未来へ』

地域とともに

あなたにいちばん

仙台市青葉区中央一・三・一  
022(267) 9221